

健康科学研究科 作業療法学専攻 修士課程

健康科学研究科 健康科学専攻 作業療学分野 博士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。教育方法の特色ある工夫としては、入学生に社会人が多いことを活かしたフィールドワーク研究を推奨し、研究の成果を社会に還元できることが挙げられます。

【教育方法】

作業療法学専攻では、乳幼児から高齢者まで、心身に病気や障害のある人々、またその予備軍を対象に、各人にとって意味があり、また大切な「作業」を可能にすることで、社会参加を促進することを目的とする実践的な作業療法を探究いたします。研究テーマは自ずと広範囲にわたるため、座学だけではなく、フィールドワークを取り入れた教育方法を重視しています。臨地・臨床の場だけでなく生活の場としての地域も視野に入れ、機能障害から生活障害、及び健康および予防までを視野に入れた教育方法の工夫と研究テーマを模索し、探究できるような教育・研究環境を準備しています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 作業療法学専攻の特色は、身体障害領域の他に、作業活動分析学及び生活障害に関する授業科目を開講し、身体機能障害にとどまることなく、生活機能や生活障害まで広い領域にわたって学ぶことが出来ることです。
- ・ 教育方法の講義では主に国内外の原著論文の精読を通して、論文を批判的に読む力、すなわちクリティカルシンキング力を身につけることができます。
- ・ 更に演習では、検索した論文のプレゼンテーションをピアレビューすることで、院生同士の学び合う力をつけるよう工夫すると同時に、新しい動作分析解析装置を活用した上肢装具や生活支援機器の開発に繋がる研究を目指しています。

【健康科学研究科 健康科学専攻（博士課程）教育の特色ある工夫】

- ・ 身体障害領域の他に、作業活動分析学及び生活障害に関する授業科目を開講し、身体機能障害にとどまることなく、生活機能や生活障害まで広い領域にわたって学ぶことができます。
- ・ 講義では主に国内外の原著論文の精読を通して、論文を批判的に読む力、即ちクリティカルシンキング力を身につけることができます。

- ・ 更に演習では、検索した論文のプレゼンテーションをピアレビューすることで、大学院生同士の学ぶ合う力をつけるよう工夫しています。
- ・ 研究では、動作解析装置などの各種測定機器等を活用した作業分析を通じて、上肢機能の訓練機器や生活支援機器の開発等に繋がる基礎的研究を推進しています。また、病気や障害の有無にかかわらず、すべての人が健康でその人らしい生活を送り、生活の質（QOL）を維持・向上できる社会の実現を目指し、環境調整、地域コミュニティの仕組みづくりやまちづくり、余暇・社会活動への参加・社会貢献に関する応用研究にも幅広く取り組みます。
- ・ 研究フィールドは、学内に留まらず、臨地・臨床の場でデータを収集することや地域・生活の場でのフィールドワークを積極的に取り入れ、実践に根差した研究活動を推進しています。